

平成20年度 事務事業評価表

	コード	H20-E-03
事務事業名	美里町農業会議所補助金	主管課局
		農林商工課
		担当名
		農政担当

1. 事務事業の概要

計画体系	(章)	3. 活力ある産業づくり			予 算 費 目	(会計)	一般会計
	(節)	3-1 創造性にあふれる農林業・農村地域の形成				(款)	農林水産業費
開始・終了年度	(開始)	昭和57年度			(項)	農業費	
	(終了)	-				(目)	農業振興費
事業の種類		自治事務(任意)	自治事務(義務)	法定受託事務			
根拠法令等	補助金等の交付手続等に関する規則、美里町農業会議所会則						
統合の検討可能な 関連・類似事業							
内容と目的	美里町地域農業の発展を図るため、地域の農業及び農業者に関する事項について意見を公表し、地域農業に必要な啓蒙活動を行う。						
現状と結果	現在、会員は米麦・花卉・酪農・養豚・肉牛などの男性農業者で構成されており、主な活動は、農場視察研修会、町民祭農産物販売、市場研修会、定例会、その他親睦会等を実施し、技術・所得の向上や自己啓発のための活動を行っている。						
課題と改善	新規会員の確保をめざして、募集を行っている。						
住民意見							
対 象 数	会 員 数	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
		24名	25名	25名			

2. 経費(決算額)

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	
事業費(千円)		100	100	100	
財源 内訳	受益者負担	0	0	0	
	国・県支出金	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	100	100	100	
備考	会員数25名 会費 5,000円 / 1人				

3. 1次評価

評価項目と評価の視点			評価・評価コメント					
妥当性	(1) 事業の必要度	社会環境や住民ニーズなどかの変化により事業の必要性や役割は変わっていないか	変わっていない	一部変わった	変わった			
	(2) 対象設定の妥当度	事業実施の目的として対象者は妥当か特定の団体や個人に偏っていないか	妥当である	あまり妥当でない	妥当ではない			
	(3) 実施主体の代替度	事業を町以外(民間や国・県など)に任せることができるか	可能でない	一部可能である	可能である			
有効性	(1) 成果の達成度	事業の実施により初期の目的や目標をどの程度達成しているか	達成していない	一部達成している	達成している			
	(2) 事業の見直し度	成果の状況を踏まえ、事業内容を見直す余地はあるか	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある			
効率性	(1) 行政コストの削減度	経費節減によりサービス水準を低下させずにコストを下げることができるか	できない	検討の余地がある	できる			
	(2) 効率性の向上度	事業の効率性を上げるため他の事業との統合や事務の省力化など見直しの余地があるか	見直す余地はない	検討の余地がある	見直す余地がある			
	(3) 受益と負担との相関度	行政サービスの内容と負担を比較して、受益者負担の適正化の余地があるか	適正化の余地はない	検討の余地がある	適正化の余地がある			
総合評価	1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり	2. 改善	3. 充実	4. 縮小	5. 統合	6. 廃止	1
予算反映	1. 現状どおり	2. 増額	3. 減額	4. 廃止				1
評価理由	地域農業に必要な啓蒙活動を行う団体として、地域農業の発展と振興を今後も図る必要がある。							

4. 行政評価検討プロジェクト意見聴取

1次評価に対する意見	農業会議所の自主的な活動をさらに促すため、補助金については引き続き存続する必要がある。
------------	---

5. 2次評価

総合評価	1. 見直しの必要なし	見直しの必要あり	2. 改善	3. 充実	4. 縮小	5. 統合	6. 廃止	1
予算反映	1. 現状どおり	2. 増額	3. 減額	4. 廃止				1
評価理由	農業会議所は町の農業の発展と振興を図る中枢的な組織であり、引き続き補助する必要がある。また、認定農業者を取り込むなど今後ますます活動を活性化させる必要がある。							

6. 外部意見聴取

評価全体に対する意見	農業振興を引き続き行う必要がある、現状どおり補助する必要がある。
------------	----------------------------------